

海老名市立上星小学校 学校運営協議会 議事録
(令和7年度 第3回)

- 1 日時 令和8年2月25日(水) 9:00~10:00
- 2 場所 海老名市立上星小学校 校長室
- 3 出席委員 栗山明郎委員長、樋口るり子委員、仲村ひとみ委員、渡部洋子委員、和田波代委員、三村早織委員(進行)、石川雄一郎委員(記録)、金子充委員

4 会議の内容

(1) 学校運営協議会委員長挨拶

1年間どうもありがとうございました。大きな事故・事件等なく良かったと思います。学校・地域・家庭、全てに感謝しております。

(2) 学校長挨拶

今年度、子どもたちみんなが元気に過ごすことができたこと、皆様のおかげだと思っています。ありがとうございました。ただ、学年末を迎え、インフルエンザ等で体調を崩してしまう子どもたちも増え、学級閉鎖した学級も2クラスあります。卒業生である6年生122名、卒業に向けてがんばっています。学校全体としても6年生を送る会など、卒業式にむけて気持ちを高めています。

50周年の時に植えた桜、見事に大きくなってきています。子どもたちが多い幸せな学校として、今年度、そして来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

(和田校長) 皆様におかれましては、学校運営協議会委員を次年度も引き続きお願いしたいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。

(委員一同) よろしくよろしくお願いいたします。

(3) 議題等

- ・今年度をふり返って
- ・地域協力による学習活動について
- ・令和7年度学校教育活動アンケート結果について

(石川委員) 今年度も、地域のみなさま、学校応援団のみなさま、保護者のみなさまにご協力いただき教育活動をすすめることができました。ありがとうございました。PTA主催の音楽鑑賞会や卒業お祝いお花植え会など、保護者も子どもたちも笑顔になる活動がこの学年末にできたことも併せてご報告いたします。

- (樋口委員) 音楽鑑賞会は見させていただきましたが、子どもたち・保護者・先生、みんながとてもよい表情をされていて、よい企画だったと思います。
- (栗山委員長) 保護者さんとの対話の場、ぜひ対面で話し合う機会を、これからも増やして行ってください。また、道路の草取りなど、保護者と地域で協力できる会を企画していくとよいと思います。
- (和田校長) 読売新聞のコンクールで学校賞をいただきました。国語科の校内研究の成果が出ていると、子どもたちだけでなく職員も喜んでおります。
- (仲村委員) とてもよいことですね。これからも続けて行ってください。
- (三村教頭) 学校教育活動アンケートの結果については、教育目標や教育活動について、ご家庭から肯定的な回答をいただいています。「教育活動をわかりやすく伝えていきますか」という設問に対する肯定的な回答が減ってしまったので、学年だよりで「お茶の間通信」というコーナーを新設し、保護者の皆様に少しでもだけ表現で日々の様子を伝えていっています。学習面に関して、引き続き国語科の授業方法を研究し、子どもたちにわかりやすい授業を行なっていきたいです。iPadを使った学習については、どのくらい使わせるのかを今後よく検討していかなければならないと思っています。学校環境や施設についてですが、老朽化に伴う修理等を計画的に進めていくことを保護者の皆様にも伝えていきます。そして、地域との連携について、記載の内容に加え、5年生が地域のバスケットボールチームと交流するなど、体験をともなった学びにできていると思っています。最後になりますが、災害については、日々の生活の中でご家庭の話題の1つにさせていただけるよう伝えていきます。

(4) 意見交換

- (和田校長) 授業参観懇談会の懇談会の人数が少なくなっているのが寂しいです。
- (三村教頭) 懇談会での意見交換時、意見を伝えることが得意な方ばかりではないので、懇談会の内容等についても検討していくことが必要だと思います。
- (渡部委員) 学童の立場としての意見ですが、学校と同様に、懇談会で集まる保護者の方は減ってきているのが実際です。どうしていくべきなのか、みんなで検討しているところです。

5 連絡 (次回の予定)

- 第1回 令和8年4月27日 9:00から校長室にて行う予定